

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地域公民館等施設改修事業			630127	担当課	中央公民館		
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	佐々木 和美			
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)公民館費	決算附属資料	254	頁		
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-			
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	社会教育法 公民館条例			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	経年劣化が進み、不具合が生じている各地域公民館等の施設・設備・備品を改修、更新することで、地域住民をはじめとする市民の皆さんに安全安心、かつ快適な公共施設を提供していく。							
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.07			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)西日本エスエスシー アムス・セキュリティサービス(株) 他							
	事業概要	地域公民館及び体育館等施設・設備について、緊急性や時節的な観点等も考慮する中で、優先度を決め施行した。六人部地域公民館の大型ガラス修繕も施工完了できた。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		六人部地域公民館 駐車場外灯修繕 など			1,667		
役務費		日新地域公民館樹木伐採手数料			242				
工事請負費		六人部地域公民館 ガラススクリーン修繕 など			2,273				
備品購入費		日新地域公民館 アルミスロープ			98				
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		5,725	4,621	1,284	24,845		
		補正予算等・・・②		628	△ 293	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		6,353	3,728	1,284	24,845		
		国支出金		0	0	0	0		
		府支出金		0	0	0	0		
		地方債		0	600	0	0		
		その他特財		0	0	0	0		
		特定財源名称(H29実績)	地域活性化事業債			700	社会教育事業債	52	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.15/0	0.15/0	0.15/0	2/0		
概算人件費・・・④		1,200	1,200	1,200					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			7,553	5,528	2,484				
執行状況	執行額・・・⑥		6,353	4,280					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	98.9%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		地域公民館等施設利用者数	人	125,202/125,000	122,536/126,000	/127,000	128,000		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		修繕・改修等の箇所数	箇所	12 / 12	6 / 6	/ 6	0		
		単位あたりコスト		529.4	713.3				
		単位あたりコスト		/	/	/			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・経年劣化の進んだ各地域公民館等の施設・設備・備品に修繕、改修等を施すことは、地域住民をはじめとする市民の皆さんに、安全安心かつ快適な公共施設を提供するうえで必要であり、優先度は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・老朽化により不具合が生じている各地域公民館等の施設・設備・備品を原状復旧、改修、更新することで、全体的な観点からコスト削減に寄与すると同時に、公共施設マネジメントを推進することになる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・地域公民館や体育館等施設については、広域避難所にも位置づけられているため、有事の際に、地域住民をはじめとする市民の皆さんに安全安心かつ快適に利用していただく公共施設として修繕は有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	老朽化により、不具合が生じている各地域公民館等施設に修繕又は改修等を施し、安全に安心して利用でき、施設の長寿命化とコスト削減につながった。			
今後の課題及び方向性	地域公民館にあつては、築30年、40年と経過していることから老朽化も著しい。今後も広域避難所でもある公民館が安心安全に利用いただくために、必要性、優先度に応じて予算措置を講じ、計画的に実施していく必要がある。			
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・年次計画を策定し、計画的に維持・修繕を進め、長寿命化を図ること(緊急性の高いものから対応するだけでは十分とは言えない。基本は計画、どうしても(が発生しないように努めつつ)という場合のみ緊急対応で ・老朽化が進んでいるとのことだが、大規模改修etcの計画を策定していただきたい ・改修であっても年次計画はある一定作るべきで、必要に応じて、時点改修すればよい。そのなかで優先順位をつけること。 ・普建調ではH32～H33でしか計画されてないが、整合を図ること		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	地域公民館等については、建築後30年～40年を過ぎ、経年劣化による傷みが著しくなっており、必要な施設・設備・備品を原状復旧又は改修若しくは更新することで、地域住民をはじめとする市民の皆さんに安全安心かつ快適な公共施設として提供していく。 また施設のリニューアル新装ができない中で、長寿命化を進めるための大規模改修においては、平成31年度に地域公民館からの要望を精査し、年次計画をたて取り組んでいく。	
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	市民交流プラザふくちやま管理運営事業			630167	担当課	中央公民館		
	開始年度	平成26(2014)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	佐々木 和美			
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)公民館費	決算附属資料	254	頁		
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-			
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	市民交流プラザふくちやま条例 市民交流プラザふくちやま条例施行規則			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民交流プラザふくちやまの施設利用者の安全と利便性を確保し、適正で効率的な維持管理運営を行う。							
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.67			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> オリックス・ファシリティーズ(株)							
	事業概要	市民交流プラザふくちやまの施設にかかる各設備保守点検業務、清掃業務、警備業務、その他の施設維持管理業務をおこなった。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		電気料、上下水道料、ガス代、駐車券、施設修繕料他			18,240		
役務費		通信運搬費(郵送料)手数料(ピアノ調律代)など			671				
委託料		警備業務、清掃業務、電気設備他保守点検業務、除雪業務			32,666				
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		53,510	53,039	50,775	49,704		
		補正予算等・・・②		△ 1,842	△ 1,437	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
		財源内訳	一般財源		40,051	37,716	35,638	34,247	
			国支出金		0	0	0	0	
			府支出金		0	0	0	0	
			地方債		0	0	0	0	
			その他特財		11,617	13,886	15,137	15,457	
	特定財源名称 (H29実績)	市民交流プラザふくちやま駐車場使用料			6,323	総務管理使用料	8 頁		
		市民交流プラザふくちやま使用料			7,784	総務管理使用料	8 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.20/0	0.20/0	0.20/0			
概算人件費・・・④		1,600	1,600	1,600	0				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			53,268	53,202	52,375	0			
執行状況	執行額・・・⑥			51,668	51,577				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		市民交流プラザふくちやま利用者数	人	419,287/262,000	440,731/300,000	/420,000	425,000		
		利用件数	件	6,489/6,500	6,438/6,500	/6,600			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		開館日数	日	360/360	359/359	/359	359		
		単位あたりコスト		143.5	143.7				
				/					
	単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・コミュニティづくり、憩いの場として目的に応じた機能を果たし、安全安心で快適な公共施設として提供できている。プラザの貸館業務では民間事業者による実施も可能であるが、公民館もあることから、手法については検討する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・太陽光発電を利用する等、効率的な運営に努めている。社会教育団体、公民館登録団体等には、社会教育施設という観点から使用料の減免をおこなっている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	成果目標については基本計画より設定している。開館から5年を迎え、認知度も高まり利用者が増し、高齢者から子どもまで市民の生涯学習実践の場として有効的に機能している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	市民交流プラザふくちやまは、コミュニティづくりの場であり、様々な交流の場として目標を超える多くの利用があった。引き続き利便性を確保し、安全安心かつ快適な公共施設として提供できるように維持管理及び運営していく。災害時には避難所としても機能している。	
	今後の課題及び方向性	今後も「まちと人・人と人をつなぐ交流空間の創造」をコンセプトに、市民交流プラザふくちやまの円滑な維持管理及び運営を継続することにより、生涯学習機能の充実とそこに集う人々の交流とにぎわいづくりを促進していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・光熱水費や施設消耗品等について、1・2Fの図書館分の費用を明確化し、その部分のコスト意識(費用削減)を持ってもらうように ・利用者数の目標については、入居団体間で共有し、それぞれの目標との整合性をもたせること ・貸スペースの受付業務を人と紙台帳で行っているが、近代的な公共施設として、Netでの申込を一部でもよいので、システムで処理する手法を検討願いたい ・予算の計上について整理を		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	図書館での小修繕や施設消耗品費用について図書館費での計上とした。貸しスペースの受付方法については他の施設の状況も見ながら効率的なシステムの検討を行う。 プラザの管理・運営に必要な整備を行うことにより、利用者の安全で安心して利用できる施設の満足度につながるため、現在の内容を継続する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	中央公民館一般管理事業 (630101)			担当課	中央公民館		
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	佐々木 和美		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)公民館費	決算附属資料	250	頁	
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-		
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	社会教育法 公民館条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	適正に維持管理することにより、快適・安全な施設利用ができ、市民の交流の場として、又、効果的に学習活動が行なえるようになる。						
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.05		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	中央公民館の利用予約の受付、使用許可、使用料の徴収等をおこなう。又、生涯学習情報誌を作成し、各世帯に配布することにより、市民の自主的な学びを推進できた。事業成果等を「公民館活動のまとめ」として作成し、社会教育関係者に配布した。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		臨時職員賃金(2名分)			2,469	
需用費		消耗品費(用度物品など)印刷製本費(生涯学習情報誌ほか)			555			
役務費		通信運搬費(電話代、郵送料)			182			
使用料及び賃借料		デジタルコピー機賃借料			107			
負担金補助及び交付金		市立公民館連絡協議会負担金(10館分)			30			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		3,621	3,633	3,418	4,488	
		補正予算等・・・②		△ 51	△ 285	0	0	
	繰越し等・・・③		0		0	0	0	
	財源内訳	一般財源		994	321	288	1,385	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		2,576	3,027	3,130	3,103	
		特定財源名称 (H29実績)		中央公民館使用料		1,405	社会教育使用料	10 頁
			自動販売機貸付収入		1,309	土地建物貸付収入	32 頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.10/0.05	0.10/0.05	0.10/0.05			
	概算人件費・・・④		925	925	925			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,495	4,273	4,343			
執行状況	執行額・・・⑥			3,570	3,343			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	99.9%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		公民館利用人数	人	40,477/40,000	42,218/42,000	/43,000	45000	
		利用件数	件	2,287/2,200	2,333/2,200	/2,300	2,500	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		開館日数	日	359/359	359/359	/359	359	
		単位あたりコスト		9.9	9.3			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・生涯学習活動に適した多様な部屋を備えているため、活動の充実が図られている。 今後、交流プラザの全体の管理体制も含めた民間による実施について研究していく。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・施設の維持管理及び運営に関する最低限の経費である。光熱水費等もかさむことから、今後、施設使用料(減免)について、見直しを行っていく必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・生涯学習活動やサークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、今後も多くの利用が期待できる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価		少子高齢化や地域での人と人との絆が薄れていく現代社会状況の中で、生涯学習環境の充実整備は、より一層強く求められてきており、中央公民館が快適安全で利便性の高い公共施設として、目標を超える利用があった。	
今後の課題及び方向性		地域公民館未設置の南陵中学校区の公民館として、又、地域公民館を統括する公民館であることから、今後も、公民館に多くの住民が集い、学び、人と人との絆を結ぶきっかけづくりとなる生涯学習情報誌の作成や市立公民館全体の情報発信を行っていく。		
庁内及び外部による評価	所見			
	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】			
二次評価	所見			
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内容 人件費において嘱託職員を臨時職員としたため、賃金が増額しているが、施設利用するための受付業務や公民館事業の住民への参加広報等、現在の内容を継続する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	川口地域公民館一般管理事業 (630102)			担当課	中央公民館	
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	佐々木 和美	
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)公民館費	決算附属資料	250	頁
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-	
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	社会教育法 公民館条例	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	適正に管理することにより、快適・安全な施設利用ができ、市民の交流の場として、又、効果的に学習活動が行なえるようになる。					
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.07	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)西日本エスエスシー アムス・セキュリティサービス(株) 他					
	事業概要	川口地域公民館の利用予約受付、使用料納付書発行、安心安全に利用していただくために施設全体の管理運営・施設修繕をおこなった。災害時には広域避難所として使用する。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費
		賃金		臨時職員賃金(1名分)			1,034
需用費		光熱水費、施設修繕費(体育館水銀灯修繕)など			2,110		
役務費		通信運搬費(電話代) 手数料(ピアノ調律手数料)など			167		
委託料		定期清掃、電気工作物、空調設備保守点検委託など			618		
使用料及び賃借料		コピー機賃借料			158		
関連事業							
予算と執行の 状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	3,969	4,029	3,906	3,605	
		補正予算等・・・②	△ 63	58	0	0	
		繰越し等・・・③	0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源	3,839	4,010	3,841	3,653	
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	67	77	65	79	
		特定財源名称 (H29実績)	川口地域公民館使用料		79	社会教育使用料	10 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.10/0.10	0.10/0.10	0.10/0.10		
概算人件費・・・④		1,050	1,050	1,050	0		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		4,956	5,137	4,956	0		
執行状況	執行額・・・⑥		3,906	4,087			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		公民館利用人数	人	4408/6,200	5047/6,200	/6,500	6,500
				/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		開館日数	日	292/292	296/296	/298	298
		単位あたりコスト		13.4	13.8		
			/	/	/		
	単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に管理・運営をしている。地域公民館は地域コミュニティの拠点であるため、民間活力の導入は慎重に検討する。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・施設の維持管理及び運営に関する最低限の経費である。施設使用料(減免)について、老朽化による施設修繕費もかさむことから見直しを図っていく必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・自主的な学びの場であり、サークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、絆を育み、活動の成果が期待できる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	▽担当課による自己評価△	目的及び指標等の達成状況に対する評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等の社会状況の中で生涯学習環境の充実整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等、計画的に取り組み、地域住民に快適安全な利便性の高い公共施設を提供できた。	
今後の課題及び方向性		築40年が経過し、老朽化に伴う不具合も多発している。優先順位を定めて修繕を行なうとともに、公民館活動を通じた人づくり、地域づくりの拠点施設として機能の強化が図られていく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 臨時職員の夜間勤務単価見直しによる賃金の縮減をおこなった。川口地域公民館を管理・運営するために必要な整備を行うことにより、安全で安心して利用できる施設の満足度につながるため、現在の内容を継続する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	日新地域公民館一般管理事業 (630103)			担当課	中央公民館		
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	佐々木 和美		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)公民館費	決算附属資料	250	頁	
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-		
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	社会教育法 公民館条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	適正に管理することにより、快適・安全な施設利用ができ、市民の交流の場として、又、効果的に学習活動が行なえるようになる。						
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.08		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)西日本エスエスシー アムス・セキュリティサービス(株) 他						
	事業概要	日新地域公民館の利用予約受付、使用料納付書発行、安心安全に利用していただくために施設全体の管理運営・施設修繕をおこなった。災害時には広域避難所として使用する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		臨時職員賃金(1名分)			1,024	
需用費		光熱水費、施設修繕費(トイレ水漏れ修繕)など			3,126			
役務費		通信運搬費(電話代) 手数料(ピアノ調律手数料)など			313			
委託料		定期清掃、電気工作物、空調設備保守点検委託など			764			
使用料及び賃借料		コピー機賃借料			143			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H30要求	
	事業費	当初予算・・・①		4,740	4,980	4,971	4,781	
		補正予算等・・・②		966	408	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		5,388	5,056	4,641	4,475	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		318	332	330	306	
		特定財源名称 (H29実績)	日新地域公民館使用料		251	社会教育使用料	10	頁
		自動販売機等電気代		53	雑入	42	頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.10/0.10	0.10/0.10	0.10/0.10			
	概算人件費・・・④		1,050	1,050	1,050	0		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			6,756	6,438	6,021	0		
執行状況	執行額・・・⑥			5,706	5,370			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	99.7%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		公民館利用人数	人	19,220/18,000	20,891/18,000	/21,000	/22,000	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		開館日数	日	293 /293	291/291	/298	298	
		単位あたりコスト		19.5	18.5			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に管理・運営をしている。地域公民館は地域コミュニティの拠点であるため、民間活力の導入は慎重に検討
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・施設の維持管理及び運営に関する最低限の経費である。施設使用料(減免)について、老朽化による施設修繕費もかさむことから見直しを図っていく必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・自主的な学びの場であり、サークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、絆を育み、活動の成果が期待できる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等の社会状況の中で生涯学習環境の充実整備は、より一層強く求められており、施設の修繕や備品の整備等、計画的に取り組み、地域住民に快適安全な利便性の高い公共施設を提供できた。目標を超える利用者数であった。	
	今後の課題及び方向性	築40年が経過し老朽化に伴う不具合が多発している。優先順位を定めて修繕を行なうとともに、地域住民の人口が一番多い地域公民館として、活動を通じた人づくりや地域づくりの拠点施設として、機能の強化が図られていく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 臨時職員の夜間勤務単価見直しによる賃金の縮減をおこなった。日新地域公民館を管理・運営するために必要な整備を行うことにより、安全で安心して利用できる施設の満足度につながるため、現在の内容を継続する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	北陵地域公民館一般管理事業 (630104)			担当課	中央公民館	
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	佐々木 和美	
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)公民館費	決算附属資料	250・252	頁
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-	
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	社会教育法 公民館条例	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	適正に管理することにより、快適・安全な施設利用ができ、市民の交流の場として、又、効果的に学習活動が行なえるようになる。					
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.02	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)西日本エスエスシー アムス・セキュリティサービス(株) 他					
	事業概要	北陵地域公民館の利用予約受付、使用料納付書発行、施設全体の管理運営・施設修繕をおこなった。災害時には広域避難所として使用する。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費
		需用費		光熱水費、消耗品費(プリンターインク)など			428
役務費		通信運搬費(電話代) 手数料(水質検査等)など			22		
委託料		定期清掃、電気工作物、空調設備保守点検委託など			315		
使用料及び賃借料		コピー機賃貸借料			136		
関連事業							
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H30要求
	事業費	当初予算・・・①		965	989	924	1,842
		補正予算等・・・②		△ 66	△ 88	0	0
		繰越し等・・・③		0	0	0	0
	財源内訳	一般財源		812	808	824	1,742
		国支出金		0	0	0	0
		府支出金		0	0	0	0
		地方債		0	0	0	0
		その他特財		87	93	100	100
		特定財源名称 (H29実績)	北陵地域公民館使用料		108	社会教育使用料	10
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.10/0.10	0.10/0.10	0.10/0.10	
概算人件費・・・④		1,050	1,050	1,050	0		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,949	1,951	1,974	0	
執行状況	執行額・・・⑥			899	901		
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	100.0%		
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		公民館利用人数	人	4641/8,000	5,563/8,000	/6,000	6,000
				/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H28	H29	最終目標
		開館日数	日	292/292	292/292	/298	298
		単位あたりコスト		3.1	3.1		
			/	/	/		
	単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に管理・運営をしている。地域公民館は地域コミュニティの拠点であるため、民間活力の導入は慎重に検討
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・施設の維持管理及び運営に関する最低限の経費である。施設使用料(減免)について、老朽化による施設修繕費もかさむことから見直しを図っていく必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・高齢化により地域の利用は少ないが、北陵総合センターと連携しながら地域外からのサークル活動など、生涯学習を実践する場として有効性はある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等の社会状況の中で生涯学習環境の充実整備は、より一層強く求められてきており、施設の修繕や備品の整備等の各種修繕にも計画的に取り組み、地域住民に快適安全な利便性の高い公共施設を提供できた。	
	今後の課題及び方向性	少子高齢化が進み公民館事業に参加する地域住民は減少しているが、地域住民に関わらず市内全域から自然が豊かな北陵地域公民館に来ていただけるよう事業の企画や北陵総合センターの施設とも連携し、地域の活動拠点として機能の強化が図られていく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 災害により公民館施設が使用できないため、公民館事業を近隣の施設に出向き実施している。体育館の貸館業務もあることから、臨時職員1名を増員するとともに管理・運営するための必要な整備を行うため、現在の内容を継続する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	六人部地域公民館一般管理事業 (630105)			担当課	中央公民館		
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	佐々木 和美		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)公民館費	決算附属資料	252	頁	
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-		
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	社会教育法 公民館条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	適正に管理することにより、快適・安全な施設利用ができ、市民の交流の場として、又、効果的に学習活動が行なえるようになる。						
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.06		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)西日本エスエスシー アムス・セキュリティサービス(株) 他						
	事業概要	六人部地域公民館の利用予約受付、使用料納付書発行、施設全体の管理運営・施設修繕をおこなった。災害時には広域避難所として使用する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		臨時職員賃金(1名分)			877	
需用費		光熱水費 施設修繕費(ホールガラス修繕)費等			1,889			
役務費		通信運搬費(電話代) 手数料(ピアノ調律手数料)など			199			
委託料		定期清掃、電気工作物、空調設備保守点検委託など			775			
使用料及び賃借料、備品購入費		コピー機賃借費143 備品購入費45			188			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		3,718	3,762	3,657	3,527	
		補正予算等・・・②		37	166	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		3,326	3,543	3,242	3,170	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		429	385	415	357	
		特定財源名称 (H29実績)	六人部地域公民館使用料		322	社会教育使用料	10	頁
		自動販売機等電気代		31	雑入	42	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.10/0.10	0.10/0.10	0.10/0.10		
概算人件費・・・④		1,050	1,050	1,050	0			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,805	4,978	4,707	0		
執行状況	執行額・・・⑥			3,755	3,928			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		公民館利用人数	人	24,537/17,000	23,413/17,000	/23,000	24000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		開館日数	日	291/291	292/292	/298	298	
		単位あたりコスト		12.9	13.5			
				/	/	/		
単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に管理・運営をしている。地域公民館は地域コミュニティの拠点であるため、民間活力の導入は慎重に検討
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・施設の維持管理及び運営に関する最低限の経費である。施設使用料(減免)について、老朽化による施設修繕費もかさむことから見直しを図っていく必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・自主的な学びの場であり、サークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、絆を育み、活動の成果が期待できる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況の中で生涯学習環境の充実整備は、より一層強く求められてきており、施設の修繕や備品の整備等、計画的に取り組み、地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設を提供できた。目標を超える利用者数があった。	
	今後の課題及び方向性	築33年が経過し老朽化に伴う不具合も多発している。優先順位を定めて修繕を行なうとともに、学校統廃合がおこなわれた地域であり、公民館活動を通じた人づくり、地域づくりの拠点施設として、機能強化が図られていく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 臨時職員の夜間勤務単価見直しによる賃金の縮減をおこなった。六人部地域公民館を管理・運営するために必要な整備を行うことにより、安全で安心して利用できる施設の満足度につながるため、現在の内容を継続する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	成和地域公民館一般管理事業 (630106)			担当課	中央公民館		
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	佐々木 和美		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)公民館費	決算附属資料	252	頁	
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-		
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	社会教育法 公民館条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	適正に管理することにより、快適・安全な施設利用ができ、市民の交流の場として、又、効果的に学習活動が行なえるようになる。						
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.09		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)西日本エスエスシー アムス・セキュリティサービス(株) 他						
	事業概要	成和地域公民館の利用予約受付、使用料納付書発行、施設全体の管理運営・施設修繕をおこなった。災害時には広域避難所として使用する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		臨時職員賃金(1名分)			1,014	
需用費		光熱水費、修繕費(体育館水銀灯修繕)など			4,034			
役務費		通信運搬費(電話代) 手数料(ピアノ調律手数料)など			111			
委託料		定期清掃、電気工作物、空調設備保守点検委託など			628			
使用料及び賃借料		コピー機賃借費			157			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		5,973	5,107	5,061	6,208	
		補正予算等・・・②		△ 274	837	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		5,265	5,476	4,592	5,777	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		434	468	469	431	
		特定財源名称 (H29実績)	成和地域公民館使用料		378	社会教育使用料	12	頁
		自動販売機等電気代		49	雑入	42	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.10/0.10	0.10/0.10	0.10/0.10		
概算人件費・・・④		1,050	1,050	1,050	0			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			6,749	6,994	6,111	0		
執行状況	執行額・・・⑥		5,699	5,944				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		公民館利用人数	人	33,709/23,000	28,741/23,000	/30,000	32000	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		開館日数	日	291/291	292/292	/298	298	
		単位あたりコスト		19.6	20.4			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民が安全で効果的な生涯学習活動をおこなう施設として適正に管理・運営をしている。地域公民館は地域コミュニティの拠点であるため、民間活力の導入は慎重に検討
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・施設の維持管理及び運営に関する最低限の経費である。施設使用料(減免)について、老朽化による施設修繕費もかさむことから見直しを図っていく必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・自主的な学びの場であり、サークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、絆を育み、活動の成果が期待できる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等、社会状況の中で生涯学習環境の充実整備は、より一層強く求められてきており、施設設備や備品等の各種修繕にも計画的に取り組み地域住民に快適安全で利便性の高い公共施設が提供できた。利用者数の大幅な減少は、天候の関係でグラウンドの使用が減ったことによる。	
	今後の課題及び方向性	築35年が経過し老朽化に伴う不具合も多発している。優先順位を定めて修繕を行なうとともに、公民館活動を通じた人づくりや地域づくりの拠点施設として、機能の強化が図られていく必要がある。又、利用者数の増加をめざし、サークル活動をはじめ公民館の利用について公民館だより等を通じてPRの強化をおこなう。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 臨時職員の夜間勤務単価見直しによる賃金の縮減をおこなった。成和地域公民館を管理・運営するために必要な整備を行うことにより、安全で安心して利用できる施設の満足度につながるため、現在の内容を継続する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	桃映地域公民館一般管理事業 (630107)			担当課	中央公民館		
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	佐々木 和美		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)公民館費	決算附属資料	252	頁	
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-		
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	社会教育法 公民館条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	適正に管理することにより、快適・安全な施設利用ができ、市民の交流の場として、又、効果的に学習活動が行なえるようになる。						
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.03		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)西日本エスエスシー アムス・セキュリティサービス(株) 他						
	事業概要	桃映地域体育館の利用予約受付、使用料の納付書発行、施設管理・修繕等をおこなった。平成29年7月に桃映地域公民館が設置され、貸館だけでなく、生涯学習講座等公民館講座も実施できた。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		臨時職員賃金(1名分)			106	
需用費		光熱水費、消耗品費(プリンターインク)など			893			
役務費		通信運搬費(電話代) 手数料(浄水検査)など			146			
委託料		定期清掃、電気工作物、空調設備保守点検委託など			143			
使用料及び賃借料		コピー機賃借料			110			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		1,196	1,342	2,053	1,956	
		補正予算等・・・②		△ 143	56	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		559	1,007	1,756	1,650	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		494	391	297	306	
		特定財源名称 (H29実績)	桃映地域公民館使用料		281	社会教育使用料	12	頁
		自動販売機等電気代		24	雑入	42	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.10/0.10	0.10/0.10	0.10/0.10		
概算人件費・・・④		1,050	1,050	1,050				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,103	2,448	0			
執行状況	執行額・・・⑥			1,053	1,398			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		体育館利用人数	人	7900/10,000	8384/10,000	/10,000	10000	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		開館日数	日	292/292	292/292	/293	298	
		単位あたりコスト		3.6	4.8			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に管理・運営をしている。地域公民館は地域コミュニティの拠点であるため、民間活力の導入は慎重に検討
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・施設の維持管理及び運営に関する最低限の経費である。施設使用料(減免)について、老朽化による施設修繕費もかさむことから見直しを図っていく必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・自主的な学びの場であり、サークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、絆を育み、活動の成果が期待できる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等の社会状況の中で生涯学習環境の充実整備は、より一層強く求められてきており、施設の修繕や備品の整備等も計画的に取り組み、地域住民に快適安全な利便性の高い公共施設を提供できた。	
	今後の課題及び方向性	新たに設立され2年目となる平成30年度は、地域づくりや地域課題の解決等の地域の活動拠点として多くの事業に取り組んでいく。又、生涯学習講座の実施については、周辺の社会教育施設を活用しながら公民館活動を実施していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 臨時職員の夜間勤務単価見直しによる賃金の縮減をおこなった。桃映地域公民館を管理・運営するために必要な整備を行うことにより、安全で安心して利用できる施設の満足度につながるため、現在の内容を継続する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	三和地域公民館一般管理事業 (630108)			担当課	中央公民館		
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	佐々木 和美		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)公民館費	決算附属資料	252	頁	
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-		
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	社会教育法 公民館条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	適正に管理することにより、快適・安全な施設利用ができ、市民の交流の場として、又、効果的に学習活動が行なえるようになる。						
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.07		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)西日本エスエスシー アムス・セキュリティサービス(株) 他						
	事業概要	三和地域公民館の利用予約受付、使用料納付書発行、施設全体の管理運営・施設修繕をおこなった。災害時には広域避難所として使用する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		臨時職員賃金(1名分)			1,309	
需用費		光熱水費 修繕費(簡易ステージ修繕)など			1,808			
役務費		通信運搬費(電話代) 手数料(ピアノ調律手数料)など			245			
委託料		ガラス清掃、エレベーター保守管理点検委託			1,140			
使用料及び賃借料		コピー機賃借料			44			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		4,275	4,449	4,390	4,428	
		補正予算等・・・②		148	102	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		4,311	4,434	4,299	4,308	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		112	117	91	120	
		特定財源名称 (H29実績)	三和地域公民館使用料		119	社会教育使用料	12	頁
		公衆電話設置等手数料		1	雑入	44	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.10/0.10	0.10/0.10	0.10/0.10		
		概算人件費・・・④		1,050	1,050	1,050		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			5,473	5,601	5,440	0		
執行状況	執行額・・・⑥			4,423	4,546			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	99.9%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		公民館利用人数	人	8,737/10,000	8,077/10,000	/10,000	10000	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		開館日数	日	360/360	359/359	/359	359	
		単位あたりコスト		12.3	12.7			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民が安全で効果的な生涯学習活動をおこなう施設として適正に管理・運営をしている。地域公民館は地域コミュニティの拠点であるため、民間活力の導入は慎重に検討
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・施設の維持管理及び運営に関する最低限の経費である。施設使用料(減免)について、老朽化による施設修繕費もかさむことから見直しを図っていく必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・自主的な学びの場であり、サークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、絆を育み、活動の成果が期待できる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等の社会状況の中で生涯学習環境の充実整備は、より一層強く求められてきており、施設の修繕や備品の整備等の各種修繕にも計画的に取り組み、地域住民に快適安全な利便性の高い公共施設を提供できた。	
	今後の課題及び方向性	老朽化に伴う不具合も多発している。優先順位を定めて修繕を行なうとともに、山里の自然を活かした地域づくりや地域課題の解決等の地域の活動拠点として、機能の強化が図られていく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	三和地域公民館を管理・運営するために必要な整備を行うことにより、安全で安心して利用できる施設の満足度につながるため、現在の内容を継続する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	夜久野地域公民館一般管理事業 (630112)			担当課	中央公民館		
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	佐々木 和美		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)公民館費	決算附属資料	252	頁	
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-		
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	社会教育法 公民館条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	適正に管理することにより、快適・安全な施設利用ができ、市民の交流の場として、又、効果的に学習活動が行なえるようになる。						
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.03		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)西日本エスエスシー アムス・セキュリティサービス(株) 他						
	事業概要	夜久野地域公民館及び旧小学校施設の体育館、グラウンド等の利用者に利用予約受付、納付書発行業務。夜久野町旧3小学校体育施設にかかる管理をおこなった。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		臨時職員賃金(1名分)			1,195	
需用費		消耗品費(リソグラフィック、用度物品)など			216			
役務費		通信運搬費(電話代) 育英小学校跡地草刈り業務			210			
使用料及び賃借料		テレビ受信料			15			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		1,679	1,704	1,752	1,675	
		補正予算等・・・②		△ 171	△ 68	0	0	
	繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		1,508	1,636	1,752	1,675	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)	旧小学校体育施設使用料		16	社会教育使用料	12	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.10/0.10	0.10/0.10	0.10/0.10		
概算人件費・・・④		1,050	1,050	1,050	0			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,558	2,686	2,802	0		
執行状況	執行額・・・⑥			1,508	1,636			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		夜久野町旧小学校体育施設利用者	人	6,693/8,000	1,864/8,000	/2,000	2,000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		開館日数	日	359/359	359/359	/359	359	
		単位あたりコスト		4.2	4.6			
				/	/	/		
単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民が安全で地域の活動等に利用できる施設として適正に管理・運営をしている。旧3小学校体育施設については公共施設マネジメントの観点からも地元地域での管理運営が検討される。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・施設の維持管理及び運営に関する最低限の経費である。利用者数の低下及び老朽化による不具合が発生している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・地域住民のサークル活動の場として有効に機能しているとともに、地域コミュニティづくりにも寄与している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等の社会状況の中で生涯学習環境の充実整備は、より一層強く求められてきており、施設利用者への快適安全な公共施設として維持管理に努めている。	
	今後の課題及び方向性	旧小学校跡地の体育館、グラウンドについては老朽化に伴う不具合や雑草等、周辺の整備が必要となってきた。今後は地元と協議しながら効率的な利用について協議・検討していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 施設利用するための受付業務や旧3小学校施設の体育館、グラウンドの除草等、適正な維持管理をおこなう。除草業務については、それぞれの地域でのボランティア活動として又、地域の人との交流事業として取り組んでいただくことにより経費を縮減した。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	大江町総合会館運営事業 (630116)			担当課	中央公民館		
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	佐々木 和美		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)公民館費	決算附属資料	252・254	頁	
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-		
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	大江町過疎地域総合センター条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	適正に管理することにより、快適・安全な施設利用ができ、市民の交流の場として、又、効果的に学習活動、各種催し物が行なえるようになる。						
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.14		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 三精テクノロジーズ(株) 姫路ナブコ(株)						
	事業概要	大江町総合会館の貸館時の窓口対応業務、施設修繕、電気設備等保守管理等、施設全体の管理運営をおこなった。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		臨時職員賃金(2名分)			2,482	
需用費		光熱水費 修繕費(ロビー照明修繕)など			5,792			
役務費		通信運搬費(電話代) 手数料(ピアノ調律手数料)など			64			
委託料		定期清掃、電動式移動観覧席保守点検委託 など			1,722			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		8,065	9,140	9,590	7,633	
		補正予算等・・・②		2,088	929	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		9,519	9,369	8,870	6,721	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		634	700	720	912	
		特定財源名称 (H29実績)	大江総合会館使用料		887		社会教育使用料	12 頁
		自動販売機等電気代		25		雑入	42 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.15/0	0.15/0	0.15/0		
		概算人件費・・・④		1,200	1,200	1,200		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			11,353	11,269	10,790			
執行状況	執行額・・・⑥		10,153	10,060				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	99.9%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		総合会館利用人数	人	18,534/20,000	14,921/20,000	/20,000	20,000	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		開館日数	日	359/359	359/359	/359	359	
		単位あたりコスト		28.3	28.0			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・全市民が生涯学習活動をはじめ各種催し物ができる施設として適正に管理・運営している。今後、大江支所指定管理も含めた民間による実施主体も視野に入れていく。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・施設の維持管理及び運営に関する最低限の経費である。施設使用料(減免)について、老朽化による施設修繕費もかさむことから見直しを図っていく必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・多目的ホールや和室、会議室等、多様な部屋があることから、生涯学習実践の場として機能しているとともに、様々なコミュニティづくりにも寄与している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	多機能施設として、駅に隣接していることもあり、260席規模の可動式椅子を備えたホールもあることから、イベント等様々な活動や発表の場として利用されている。老朽化による不具合も多く修繕も施した。また、利用者は減少傾向にある。	
	今後の課題及び方向性	大きなホールもあることから多くの市民が利用し、活用していただくための企画の充実や周知方法についても検討していく必要はある。施設管理の所管については、施設の不具合の対応等、物理的な問題もあることから所管換えすることも検討する必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 清掃業務委託の廃止、臨時職員の夜間勤務単価見直しによる賃金の縮減。その他については大江総合会館を管理・運営するために必要な整備をすることにより、安全で安心して利用できる施設の満足度につながるため、現在の内容を継続する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	大江地域公民館一般管理事業 (630162)			担当課	中央公民館		
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	佐々木 和美		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)公民館費	決算附属資料	254	頁	
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-		
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	社会教育法 公民館条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	適正に管理することにより、快適・安全な施設利用ができ、市民の交流の場として、又、効果的に学習活動が行なえるようになる。						
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.05		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)西日本エスエスシー アムス・セキュリティサービス(株) 他						
	事業概要	大江地域公民館の利用者を対象に、施設の利用予約受付、使用料納付書の発行、施設修繕。地域プール(有路下・河東)の施設管理・修繕をおこなった。災害時には広域避難所としての管理・運営を行う。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		臨時職員賃金(1名分)			1022	
需用費		光熱水費 修繕費(有路下プール修繕)など			1484			
役務費		通信運搬費(電話代) プール水質検査手数料等			266			
委託料		ガラス清掃、プール浄化装置維持管理委託 など			404			
使用料及び賃借料		旧河西地域公民館プール借地料 テレビ受信料など			98			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①		3,650	3,090	3,201	2,841	
		補正予算等…②		△ 14	184	0	0	
		繰越し等…③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		3,605	3,229	3,151	2,793	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		31	45	50	48	
		特定財源名称 (H29実績)	大江地域公民館使用料		21	社会教育使用料	12	頁
		自動販売機等電気代		18	雑入	42	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.10/0.10	0.10/0.10	0.10/0.10		
概算人件費…④		1,050	1,050	1,050	0			
総事業費(①+②+③+④)…⑤			4,686	4,324	4,251	0		
執行状況	執行額…⑥			3,116	3,274			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			85.7%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		公民館利用人数	人	4176/10,000	4,130/5,000	/5,000	5,000	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		開館日数	日	291/291	292/292	/298	298	
		単位あたりコスト		10.7	11.2			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民が安全で効果的な生涯学習活動ができる施設として適正に管理・運営をしている。地域公民館は地域コミュニティの拠点であるため、民間活力の導入は慎重に検討
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・施設の維持管理及び運営に関する最低限の経費である。施設使用料(減免)について、老朽化による施設修繕費も必要となることから見直しを図っていく必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・自主的な学びの場であり、サークル活動など、住民が生涯学習を実践する場として需要は高く、絆を育み、活動の成果が期待できる。地域プールは費用対効果は低い
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>少子高齢化や地域での住民同士の絆の希薄化等の社会状況の中で生涯学習環境の充実整備は、より一層強く求められてきており、施設の修繕や備品の整備等も計画的に取り組み、地域住民に快適安全な利便性の高い公共施設を提供できた。</p>	
	今後の課題及び方向性	<p>少子高齢化が進み公民館事業に参加する地域住民は減少しているが、公民館活動を通して人と人との絆を深め、地域づくりや地域課題の解決等の地域の活動拠点として、機能の強化が図られていく必要がある。地域プールについては、子どもの利用が減る中で老朽化し、修繕も必要となっている。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内容 臨時職員の夜間勤務単価見直しによる賃金の縮減をおこなった。大江地域公民館を管理・運営するために必要な整備を行うことにより、安全で安心して利用できる施設の満足度につながるため、現在の内容を継続する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	夜久野町生涯学習センター事業 (630234)			担当課	生涯学習課		
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	崎山 正人		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)社会教育総務費	決算附属資料	242	頁	
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-		
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	福知山市夜久野町生涯学習センター条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	夜久野ふれあいプラザのうち、生涯学習センター機能の部分の管理運営を行い、市民の利用に供し、生涯学習の推進と地域の活性化を推進する						
	対象者	市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.19		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> (株)橋田舞台設備(舞台)、ダイキン工業(電気空調)、(株)パナソニック機(ガス空調)、他5件						
	事業概要	夜久野町生涯学習センターの管理運営						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		施設管理運営臨時職員雇用			3,361	
		需用費		消耗品費(電球、洗剤等)、燃料費、光熱水費、施設修繕費等			5,194	
役務費		通信運搬(電話代)、手数料(ピアノ調律)、建物共済保険			234			
委託料		施設保守・管理・点検委託、貯水槽、屋内・床清掃			3,206			
使用料及び賃借料、備品購入費		(NHK受信料、音響機器)66、備品購入(消火器)22			87			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		10,892	10,826	11,165	12,707	
		補正予算等・・・②		118	1,256	0		
	繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		9,772	10,767	9,774	11,296	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		1,238	1,315	1,391	1,411	
		特定財源名称 (H29実績)		施設使用料		697	使用料	12 頁
			自販機等貸付収入		502	財産運用収入	32 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.32/0	0.32/0	0.32/0	/	
		概算人件費・・・④		2,560	2,560	2,560		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			13,570	14,642	13,725			
執行状況	執行額・・・⑥			11,010	12,082			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		利用者数	人	17564/16000	17254/16000	/16000	16000	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		開館日数	日	359/359	359/359	/359	359	
		単位あたりコスト		30.7	33.7			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・生涯学習の地域拠点として活用を図る必要がある。民間業者へ管理の一部を委託することは可能であるが、コストなど比較検証が必要。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・設備の管理委託等は長期継続契約を行いコストの削減に努めている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・成果目標については、事業規模から経験的に期待される目標としており、十分に理にかなったものとは言い難いものの、利用者は増加傾向にある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ●最新の設備を備えたプラザは市民の研修の場として広く活用されている。特に文化ホールは高い性能と適度な規模(299席)で好評である。 ●利用日は、320日/359日の利用があり、89%と利用率は高い ●市民の文化的活動の推進、集会施設として適正な利用が図れるよう、維持管理・保守管理に努めた。 	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●保守管理、メンテナンスより美観・木質を重視した施設として建築されており、維持管理経費が増加している。(建設から13年が経過し、機械設備など耐用年数を超え更新時期を迎える) ●支所機能に加え住民の文化・保健福祉複合機能を有しており、管理運営について生涯学習課の所管が適当であるか、管理体制の見直しが必要である。 		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 ■施設の適切な維持・管理運営のため、継続的に事業を進めるが、施設の用途・機能が支所・公民館・図書館・保健福祉施設と多岐にわたり、現所管課での管理では実態にそぐわない点も多い。教育文化会館の管理運営の方向性と合わせ、担当の整理が必要と考えている。 ■竣工10年を越え、施設の老朽化が進行している。点検・状況確認を行い、計画的な修繕・改修工事を立案する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	